

公述人Eさん（団体事務所） （鷺沼在住）

「タワマン530世帯ができることで、鷺沼小学校の児童数増加（教室不足）が問題」

新日本婦人の会の宮前区事務所は鷺沼1丁目、鷺沼小学校校庭に面している道路沿いにあります。この道路は、鷺沼再開発が進めば、市民館や図書館を利用する市民、商業施設への商品搬入の車が利用することになります。そうなれば、私たちの日々の活動にも影響してきます。公聴会では、鷺沼駅前再開発と私たちの活動は大いに関係があるという立場から意見を述べました。2つの問題についてふれました。

1. 交通量、渋滞の問題です。

いまでも、国道246号線から鷺沼小学校の信号に向かって入ってくる車が多くて、コロナ対策の換気のために窓を開けると、騒音で会議やサークル活動に支障をきたすことがあります。鷺沼再開発でいと比べて交通量が大幅に増えることを考えると、渋滞、騒音、排気ガスなど不安材料が増します。

また、新婦人の会の会員は、宮前区のあちこちに住んでいますから、事務所に来るときには、多くの方がバスを利用します。いまでも、鷺沼バスターミナルのところで渋滞がおきる時間帯があり、その時は、一つ手前のバス停で降りて、事務所に来る人もいます。駅前の渋滞はどうなるのか、渋滞が起きないようにするため、どのような対策を考えているかについて聞きたいと、意見をのべました。

東急(株)見解：今後の計画の中で警察と協議して対応する。

2. タワマンができることで、鷺沼小学校の児童数増加（教室不足）の問題です。

前日に鷺沼小学校の校長先生とお会いする機会があり、児童数増加に対して敷地が狭く、プレハブ教室で対応することの大変さについて話されていました。それは土橋小学校、有馬中学校についても同様のことがいえると思います。タワマンを建ててしまえば、後は市で何とか対策を考えてでは、あまりにも事業者として無責任ではないかと思います。学校には、子ども、教職員の方がいるのです。そこでの声を聞き、対策を真剣に考えてくれなければ、企業としての責任が問われます。企業の社会的責任が大いに問われているのが鷺沼再開発・タワマン建設の問題だという感想を持ちました。

公聴会の説明資料は、私たちには聞きなれない専門用語が並び、図や数字で詳しく説明してありました。私たちには、これらのデータをみても理解できない部分も数多くあります。

東急(株)見解：不足に対しては、早い段階の情報提供で市が考えていただけると考えている。

事業者・市は、数字だけで良しとするのではなく、想定外のことが起こることも考え、住民の安全第一に考える姿勢を持ってほしいと思います。「生活環境に支障を及ぼすことはない」という答弁を事業者側は何度もしていましたが、どこかの国の政治家を思ってしまった。

私たちの本音は、タワマンの階数も含めて開発ありきではなく、いまの計画を見直して

ほしいということです。

東急(株)見解：数字だけでは理解が難しい。予測でよみきれなかった所は、組合が責任をもって対応する。

以上